



平成30年度

# 社会的孤立の増加への対応

少子高齢化や核家族化等により、単独世帯（特に高齢者の単独世帯）が増加すると推計されており、孤立死（孤独死）が大きな社会問題となっています。孤独死（誰にも看取られることなく亡くなったあとに発見される死）を身近な問題と感じる人の割合は、60歳以上の一人暮らしでは4割を越えると報告されており（平成29年版高齢社会白書）、住民の福祉の向上を目指す市町村にとって、孤立死（孤独死）の予防は喫緊の課題です。この研修では、孤立死（孤独死）を予防するためにも、社会的に孤立しない地域づくり、仕組みづくりをどう進めていくか考えます。

## 研修の内容

- ① 孤立死（孤独死）をめぐる行政の役割や法的枠組みを知る
- ② 社会的孤立が起こりにくい地域、仕組みを考える
- ③ 孤立死（孤独死）が起こった場合の早期発見、対応の仕組みを考える

## 開催要領

日程

平成30年10月31日(水)～11月2日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

住民の孤立死・孤独死予防や対応にあたる市区町村、  
社会福祉協議会、NPO等の職員の皆様

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成30年9月13日(木)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

## ● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] [kenshu@jiam.jp](mailto:kenshu@jiam.jp) [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成30年

10月

31日(水)

11:00～

**入寮受付・昼食**

12:30～

**開講・オリエンテーション**

13:00～15:35

**講義 社会的孤立問題と解決方策のあり方**

明治学院大学学長特別補佐・名誉教授 河合 克義 氏

少子高齢化や核家族化等により、単独世帯(特に高齢者の単独世帯)が増えています。そうした中で、日本の親族ネットワーク・地域ネットワークの希薄化、生活基盤の不安定化等により、社会的孤立問題が深刻化しています。最近、顕著になってきている孤立死の全国的増加傾向は大きな課題です。この時間は、社会的孤立問題の現状と課題についてお話しいただき、その解決策と市町村の役割等について考えていきます。

15:50～17:00

**演習 情報交換会** 小グループに分かれて、意見交換を行います。

17:30～

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年

11月

1日(木)

9:25～10:35

**事例紹介 孤立しない地域づくり①**

東京都北区高齢福祉課長 岩田 直子 氏 ※

孤立死(孤独死)等が起こらないよう、社会的孤立を防ぐために、東京都北区ではどのような取組みを進めているのか、困難事例へのアプローチとしても活用されている「高齢者あんしんセンターサポート医」制度を中心にお話しいただきます。

10:50～12:00

**事例紹介 孤立しない地域づくり②**

横浜市旭区高齢・障害支援課高齢者支援担当係長 高野 利恵 氏 ※

見守りや孤立予防に関わる横浜市の取組みや、高齢者や障害者が集住する地域において孤立予防や問題の早期発見・対応のために開始された相談室とサロン、見守り事業を中心にお話しいただきます。

12:00～12:35

**演習** 事例を聞き、受講者同士で意見交換を行います。 ※

13:35～16:10

**事例紹介 孤立死(孤独死)の法的対応**

大阪弁護士会 弁護士 ※

身寄りがなく孤立死(孤独死)された場合、実際に、市町村職員がどのように対応すべきか、その対応事例や、法的課題等についてお話しいただきます。

16:25～17:00

**演習** 事例を聞き、受講者同士で意見交換を行います。 ※

平成30年

11月

2日(金)

9:25～10:35

**事例紹介 自治体の終活支援**

神奈川県横須賀市福祉部次長 北見 万幸 氏 ※

独居高齢者が増え、引き取り手のない遺骨の増加も課題となる中、“最期の支援”が問われる時代となっています。横須賀市では、市民が倒れた後も、その意思が完遂できるよう、「エンディングプラン・サポート事業」と「私の終活登録事業」が実施されています。地域コミュニティや様々な民業も巻き込んだ“尊厳”を守るための2つの取組みを、日々の活動も含めご紹介いただきます。

10:50～12:00

**事例紹介 孤立しない住まい方**

株式会社コミュニティネット 運営部 ゆいま～る多摩平の森ハウス長 清水 敦子 氏 ※

東京都日野市にあるゆいま～る多摩平の森は、UR都市機構の既存の団地をリノベーションし、「高齢者向け住宅」として利用しています。子供から高齢者まで様々な価値観を持った人たちが「緩やかに繋がる」ことを大切に、お互い様の気持ちで、人と関わりをもっていく様々な工夫がこらされています。超高齢社会におけるこれからの住まい方の一つの事例としてご紹介いただきます。

13:00～13:35

**演習** 事例を聞き、受講者同士で意見交換を行います。 ※

13:35～14:10

**講義 まとめ**

早稲田大学文学学術院教授 石田 光規 氏

3日間の研修のまとめとして、今後、社会的孤立の増加にどう対応していくべきかお話しいただきます。

14:10～14:40

**ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

※「事例紹介」及び「演習」のコーディネーターとして、早稲田大学文学学術院教授 石田 光規 氏にご指導いただきます。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。● 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。